

令和2年度第2回「まちかどコメンテーター」アンケート調査結果

まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、その方々から市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めることも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

住民基本台帳から無作為抽出した市民2,500人にまちかどコメンテーターへの就任を依頼し承諾いただいた方と、一般公募に応募していただいた方から構成されています。

(3) 任期

令和元年7月1日～令和3年6月30日

(4) 人数

245人

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

今回のアンケートの概要

テーマ (担当課)	地域福祉館について	(健康福祉局 地域福祉課)
	鹿児島市の農林水産業について	(産業局 農政総務課)
	歯周病について	(健康福祉局 保健予防課)
調査期間	令和2年10月26日～11月13日	
送付数	245人	
回答率	64.5% (158人)	

(注) 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

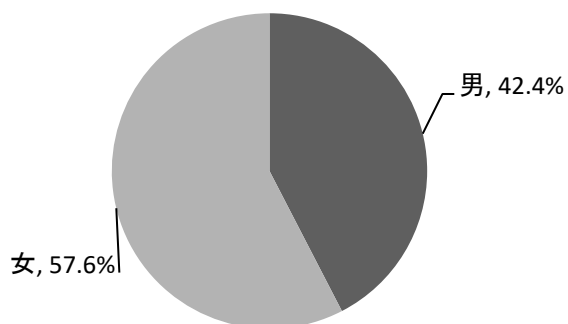
(注) 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。

(注) 自由記入の回答は、主な意見のみを記載しています。全文は市ホームページで公開しています。

回答者の構成

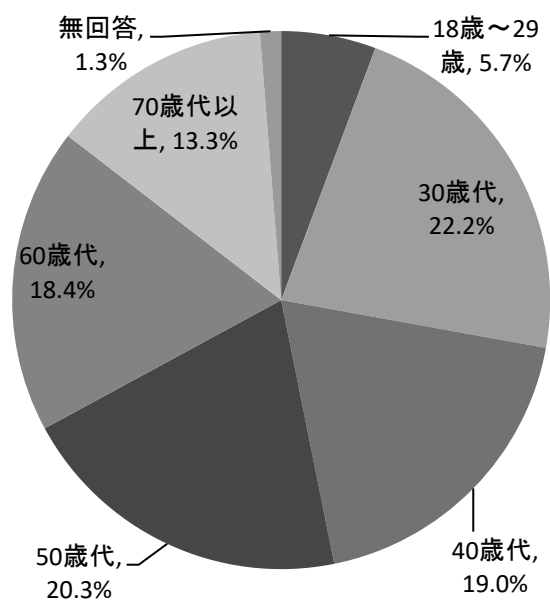
問1. 性別を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
男	67	42.4%
女	91	57.6%
無回答	0	0.0%
合計	158	100.0%



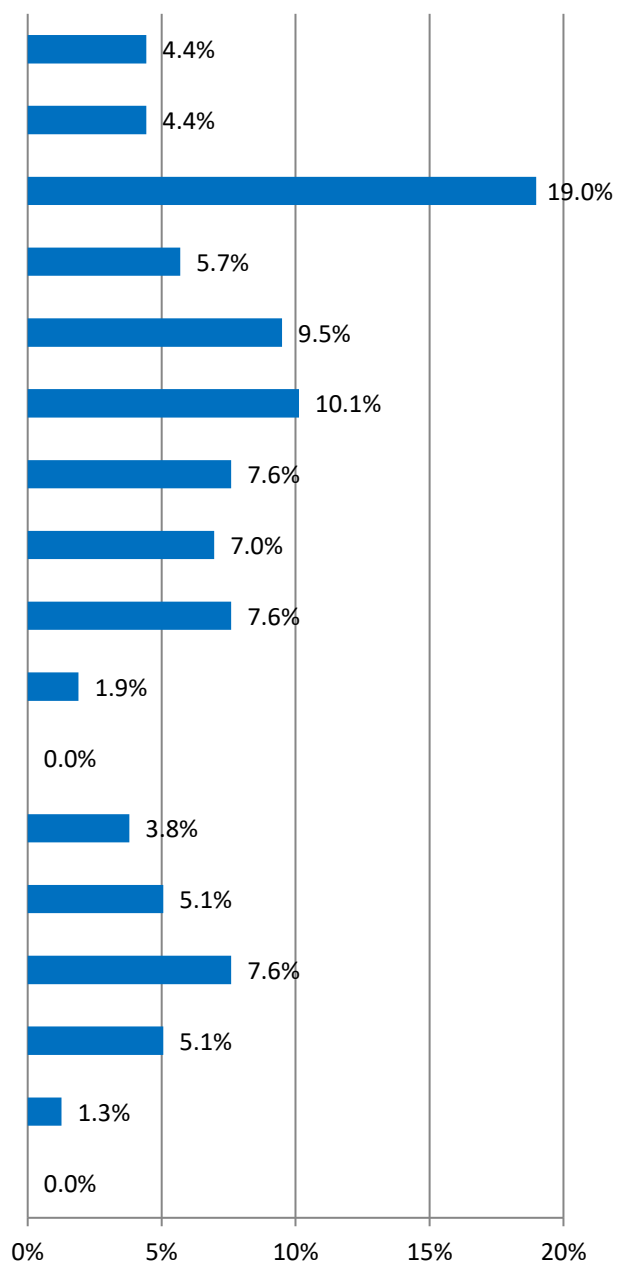
問2. 年代を選択してください。

選択肢	回答数	構成比
18歳～29歳	9	5.7%
30歳代	35	22.2%
40歳代	30	19.0%
50歳代	32	20.3%
60歳代	29	18.4%
70歳代以上	21	13.3%
無回答	2	1.3%
合計	158	100.0%



問3. 町名を記入してください。※ご記入いただいた町名を元に集計しています。

地域	回答数	構成比
中央地区	7	4.4%
上町地区	7	4.4%
鴨池地区	30	19.0%
城西地区	9	5.7%
武・田上地区	15	9.5%
谷山北部地区	16	10.1%
谷山地区	12	7.6%
伊敷地域	11	7.0%
吉野地域	12	7.6%
桜島地域	3	1.9%
東桜島地域	0	0.0%
吉田地域	6	3.8%
喜入地域	8	5.1%
松元地域	12	7.6%
郡山地域	8	5.1%
市外	2	1.3%
不明	0	0.0%
合計	158	100.0%



地域福祉館について

【アンケートの目的】

本市では、市民の福祉の増進を図るとともに、地域で互いに支え合い、助け合うまちづくりを進めるため、地域福祉館を設置しています。

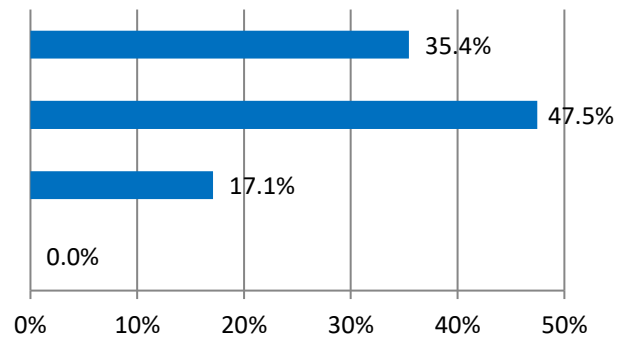
地域福祉館は、地域住民の福祉の増進を図ることを基本的な目標に置き、高齢者や子供達のふれあいの場として、また地域住民のコミュニティづくりの場として、併せてボランティア活動など、地域の福祉活動を行う場として多くの市民に利用され親しまれております。

つきましては、市民のみなさまのご意見や考え方などを把握し、今後の魅力ある地域福祉館の運営に反映するために、アンケートを実施しますので、ご協力お願いいたします。

【調査結果】

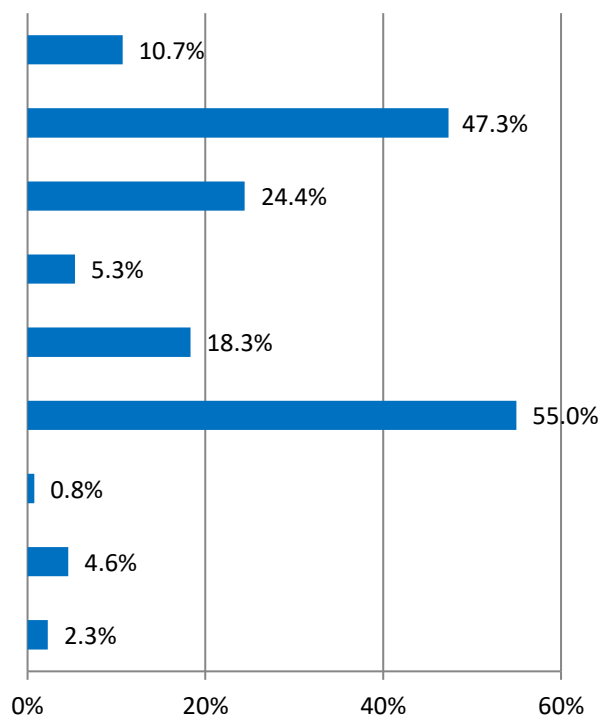
問4：地域福祉館を知っていますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
名称も施設の内容も知っている	56	35.4%
名称は知っているが、施設の内容は知らない	75	47.5%
名称も施設の内容も知らない	27	17.1%
無回答	0	0.0%
合計	158	100.0%



問5：問4で「1. 名称も施設の内容も知っている」又は「2. 名称は知っているが、施設の内容は知らない」と回答された方にお伺いします。どのようにして地域福祉館を知りましたか。
（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
市などのホームページ	14	10.7%
市民のひろば	62	47.3%
福祉館だより	32	24.4%
テレビ・ラジオ	7	5.3%
友人・知人	24	18.3%
近所の建物として	72	55.0%
SNS	1	0.8%
その他	6	4.6%
無回答	3	2.3%
合計	221	

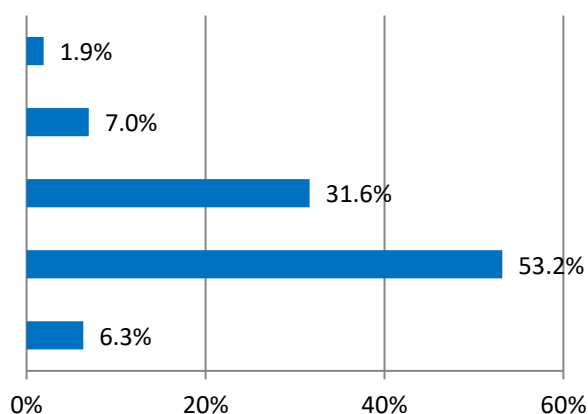


問5：その他の主な意見

家族がよく利用している。

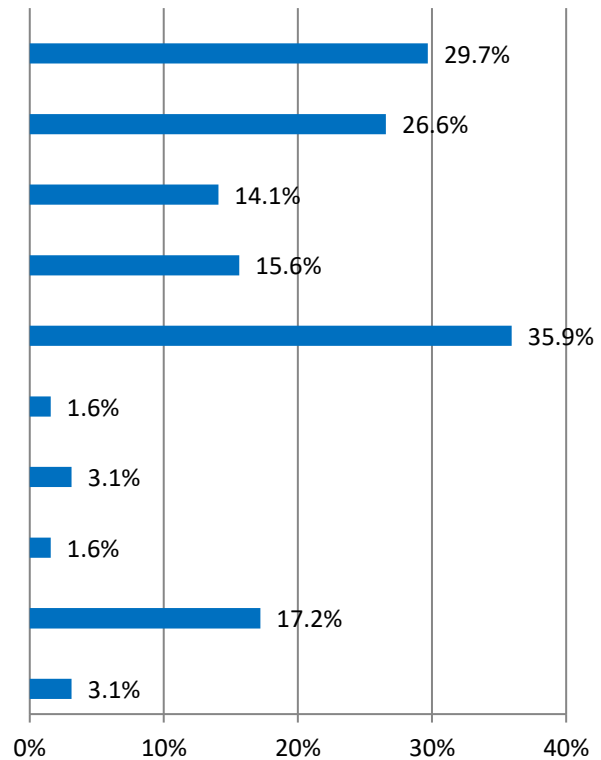
問6：地域福祉館を利用したことがありますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
定期的に利用している	3	1.9%
ときどき利用している	11	7.0%
以前利用したことがある	50	31.6%
利用したことがない	84	53.2%
無回答	10	6.3%
合計	158	100.0%



問7：問6で「1. 定期的にご利用している」、「2. ときどきご利用している」、「3. 以前利用したことがある」と回答された方にお伺いします。それはどのような利用ですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
趣味・教養活動（書道・合唱・体操など）	19	29.7%
小地域ネットワーク活動（子育てサロン・介護講習会など）	17	26.6%
地域福祉館主催のイベント（福祉館まつり・七夕まつりなど）	9	14.1%
地域福祉館主催の自主講座（調理教室・出前講座など）	10	15.6%
児童ルーム（子供の遊び場）	23	35.9%
福祉館サロン・毎日サロン	1	1.6%
災害時の避難所	2	3.1%
福祉相談	1	1.6%
その他	11	17.2%
無回答	2	3.1%
合計	95	



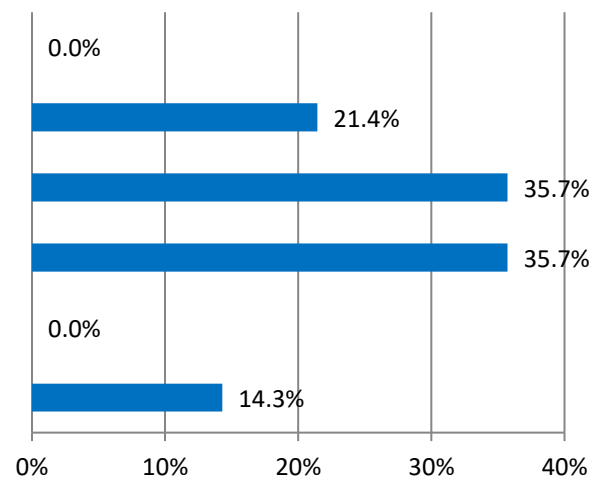
問7：その他の主な意見

手話サークル

地域の文化祭

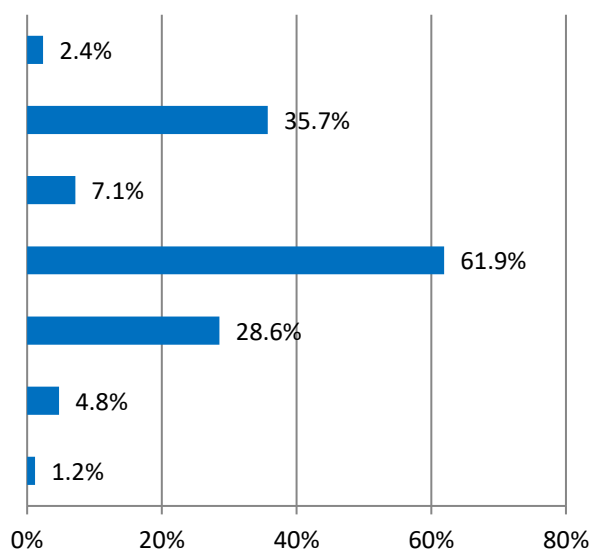
問8：問6で「1. 定期的にご利用している」、「2. ときどきご利用している」と回答された方にお伺いします。どれくらいの頻度でご利用していますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
週に3回以上	0	0.0%
週に1～2回	3	21.4%
月に1回程度	5	35.7%
年に1回程度	5	35.7%
その他	0	0.0%
無回答	2	14.3%
合計	15	



問9：問6で「4利用したことがない」と回答された方にお伺いします。
地域福祉館を利用したことがない理由は何ですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
自宅から遠い	2	2.4%
地域福祉館で何をしているのか分からない	30	35.7%
地域福祉館以外の施設（公民館など）を利用している	6	7.1%
地域福祉館を利用する機会がない	52	61.9%
特に理由はない	24	28.6%
その他	4	4.8%
無回答	1	1.2%
合計	119	



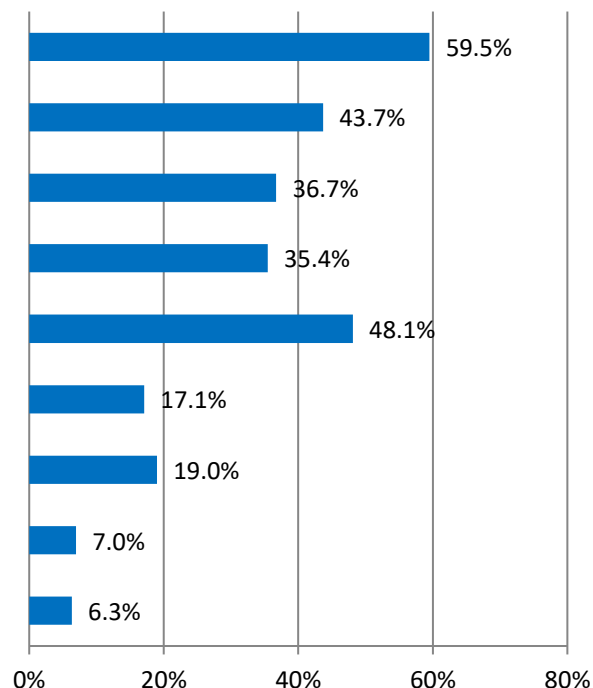
問9：その他の主な意見

どこにあるか知らない。近くにはない。

忙しいから。

問10：地域福祉館の利用を促進するためにはどのような活動が効果的だと思いますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
趣味・教養活動（書道・合唱・体操など）	94	59.5%
小地域ネットワーク活動（子育てサロン・介護講習会など）	69	43.7%
地域福祉館主催のイベント（福祉館まつり・七夕まつりなど）	58	36.7%
地域福祉館主催の自主講座（調理教室・出前講座など）	56	35.4%
児童ルーム（子供の遊び場）	76	48.1%
福祉館サロン・毎日サロン確保のため	27	17.1%
福祉相談	30	19.0%
その他	11	7.0%
無回答	10	6.3%
合計	431	



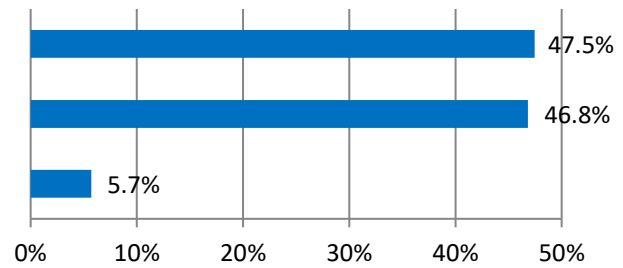
問10：その他の主な意見

緊急時の避難体験。救急、救命講座。

内容的に公民館との差別化をはかる必要がありそう。

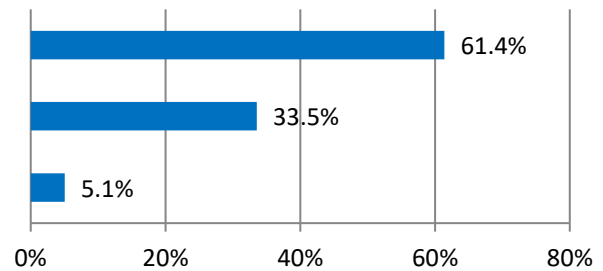
問11：地域福祉館の使用料は、無料であることを知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
知っている	75	47.5%
知らない	74	46.8%
無回答	9	5.7%
合計	158	100.0%



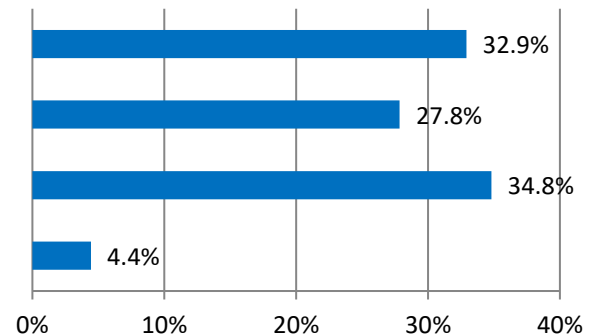
問12：地域福祉館（一部の館を除く）が、災害時の指定避難所になっていることを知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
知っている	97	61.4%
知らない	53	33.5%
無回答	8	5.1%
合計	158	100.0%



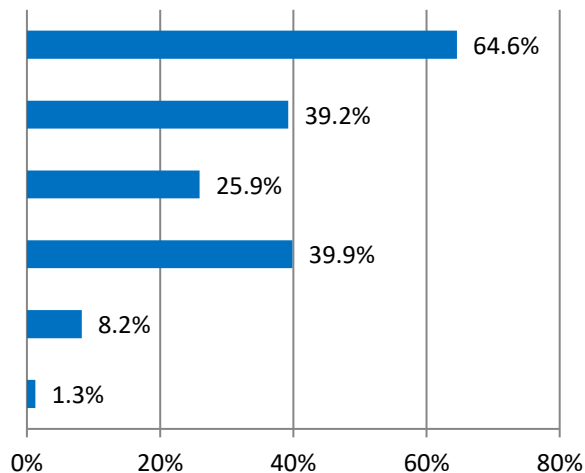
問13：町内会等を通じて配布している「福祉館だより」を知っていますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
知っている	52	32.9%
見たことはある	44	27.8%
知らない	55	34.8%
無回答	7	4.4%
合計	158	100.0%



問14：現在、地域福祉館を知ってもらうために、市広報誌「市民のひろば」やホームページなどで広報を行っています。この他の広報媒体として、どれが効果的だと思いますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
新聞 やフリーペーパー	102	64.6%
SNS	62	39.2%
ポスター掲示	41	25.9%
チラシの設置や配布	63	39.9%
その他	13	8.2%
無回答	2	1.3%
合計	283	



問14：その他の主な意見

町内会の活動を通して利用したりすると、身近に感じられる。

地域、集落の回覧板を利用。

問15：地域福祉館について、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にお書きください。

災害時の避難所としての活用について、もう少し「市民のひろば」で広報してもらいたい。

福祉館の内容をもっとPRすれば活用者が増えると思う。

育児や介護はもちろん貧困問題などを抱える人たちが、気軽に集える場所にしてほしい。
また、そこから、行政支援につなげていけるといいと思う。

※各質問ごとの「その他の意見」については、大変多くのご意見をいただいておりますことから、市ホームページに掲載しております。

【テーマ担当課（地域福祉課）からのコメント】

地域福祉館について、市民のみなさまの認知度や施設利用についての意見をいただき、より利用しやすい施設にするためにアンケートを実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

地域福祉館の認知度について、「名称も施設の内容も知っている」と回答した方は35.4%にとどまり、「名称は知っているが、施設の内容は知らない」、「名称も施設の内容も知らない」と施設の内容を知らない方が64.6%と半数以上を占めたことから、更なる周知広報の必要性があるものと考えます。

また、町内会を通じて配布している「福祉館だより」について、「知っている」、「見たことはある」と回答した方は60.7%と、市民のみなさまの目に触れる機会が一定の割合である一方、「知らない」と回答した方が34.8%あることから情報発信の方法の強化が必要であることが分かりました。

今回いただきました貴重なご意見を踏まえながら、気軽に参加したくなる行事など内容の充実を図りながら、地域住民のコミュニティづくりの場や、地域の福祉活動を行う場としてもっと多くの市民のみなさま方に親しまれる施設を目指して、更なる利用促進を図ってまいりたいと考えております。

鹿児島市の農林水産業について

【アンケートの目的】

農林水産業は、農林水産物の生産だけでなく、生態系の保全や防災機能、良好な景観の形成などの多くの役割を有しています。

しかし、高齢化による担い手減少、多様化する消費者ニーズへの対応や他産地との競争激化など、多くの課題を抱えています。

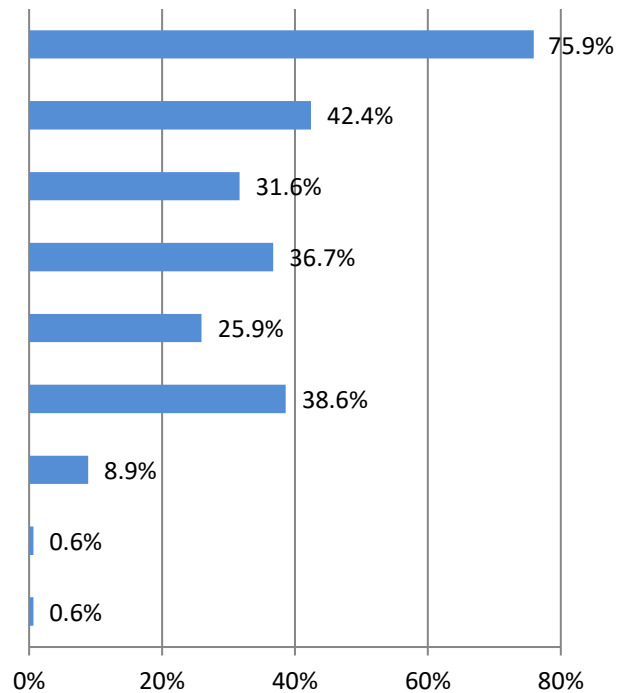
このような状況の中、農林水産業振興のあり方を示す「次期農林水産業振興プラン（仮称）」を令和3年度に策定する予定です。

つきましては、鹿児島市の農林水産業の振興に向けて、皆様のご意見を伺い、施策に反映させたいと考えておりますので、アンケートのご協力をお願いいたします。

【調査結果】

問16：鹿児島市の農業や農地を身近に感じたことがありますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
鹿児島市内産の農畜産物を購入したことがある	120	75.9%
農業に携わっている人が知り合いにいる	67	42.4%
身近に農地がある	50	31.6%
農作業体験をしたことがある	58	36.7%
農業関係のイベントに参加したことがある	41	25.9%
テレビやインターネットなどで本市の農業に関する情報を見聞きしたことがある	61	38.6%
特になし	14	8.9%
その他	1	0.6%
無回答	1	0.6%
合計	413	

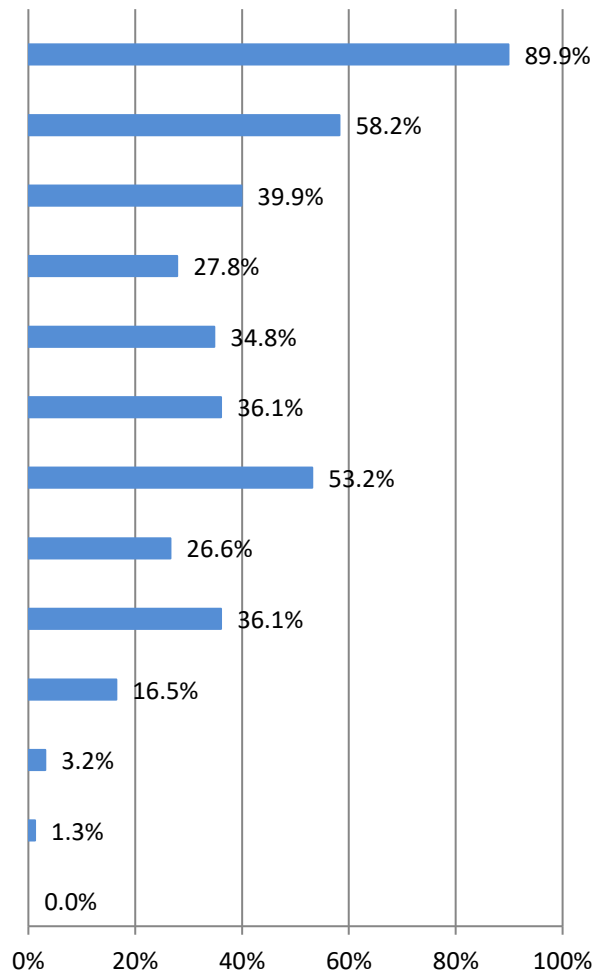


問16：その他の主な意見

桜島からは交通が不便。

問17：鹿児島市の農業・農地・農村に期待する役割がありますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
新鮮で安全な農畜産物の供給	142	89.9%
地域産業の活性化（他産業との連携を含む）	92	58.2%
多様な生き物を育む生態系の保全	63	39.9%
洪水防止や災害時の避難場所などの防災機能	44	27.8%
地域の伝統・文化の継承	55	34.8%
良好な景観の形成	57	36.1%
農作業体験や食育、環境学習などの教育機能	84	53.2%
地域コミュニティの場	42	26.6%
市民農園などのレクリエーションや生活に潤いや安らぎをもたらす機能	57	36.1%
園芸療法など医療・福祉機能	26	16.5%
特にない	5	3.2%
その他	2	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	669	

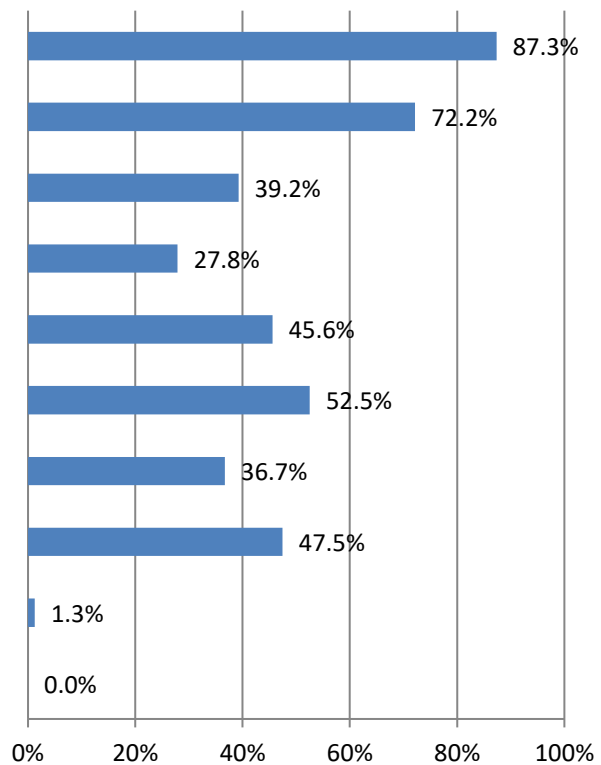


問17：その他の主な意見

自然環境保護の役割が大きいと思う。

問18：今後、農業の振興や農地の保全をするために、どのような取組が重要だと思いますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
新規就農者や後継者の確保・育成	138	87.3%
農業者の経営安定化への支援	114	72.2%
最新技術や施設の導入促進	62	39.2%
農道や水路等の保全	44	27.8%
農畜産物の付加価値の向上	72	45.6%
農畜産物の消費拡大に向けたPR	83	52.5%
市民の農業や農地に対する理解を深めるための取組	58	36.7%
農作業ボランティアなど市民が協力できる機会を増やす	75	47.5%
その他	2	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	648	

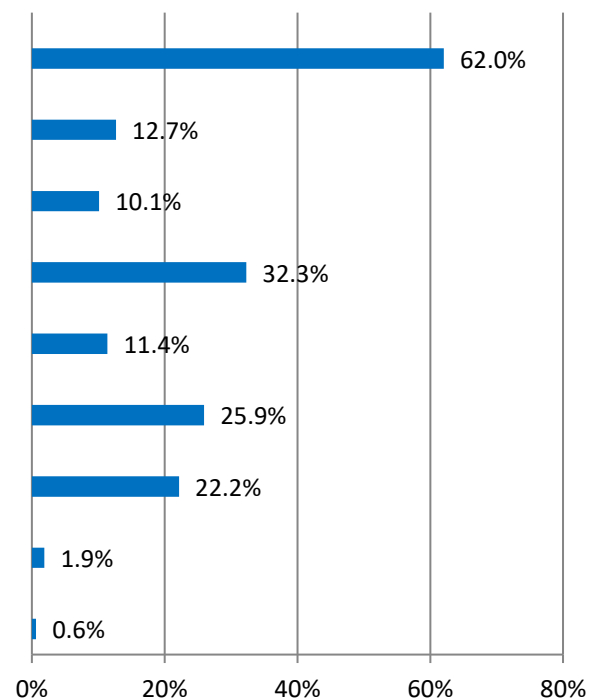


問18：その他の主な意見

農家と都市民との様々な交流。

問19：鹿児島市の林業や森林を身近に感じたことがありますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
鹿児島市内の林産物（しいたけ、たけのこ）を購入したことがある	98	62.0%
林業に携わっている人が知り合いにいる	20	12.7%
林業の作業体験をしたことがある	16	10.1%
ハイキングや森林浴などに行くことがある	51	32.3%
林業関係のイベントに参加したことがある	18	11.4%
テレビやインターネットなどで本市の林業に関する情報を見聞きしたことがある	41	25.9%
特にない	35	22.2%
その他	3	1.9%
無回答	1	0.6%
合計	283	

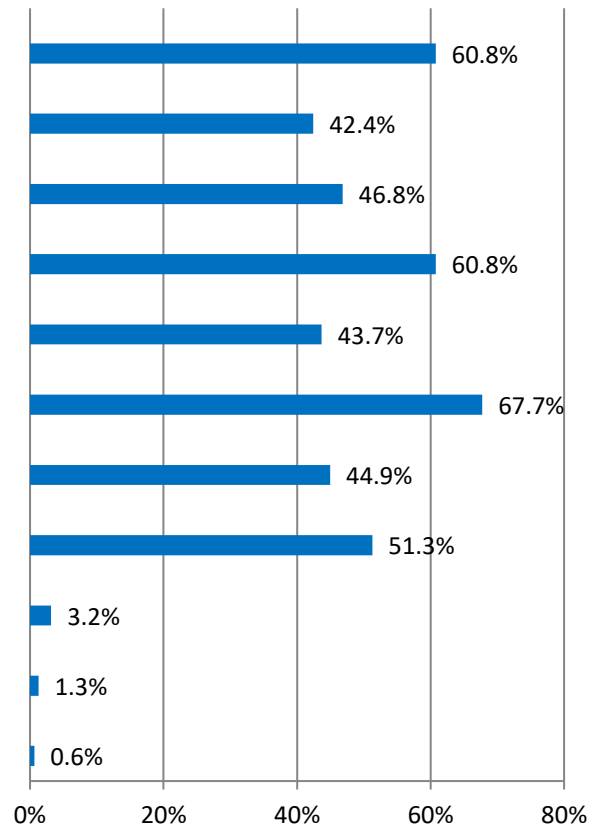


問19：その他の主な意見

緑の少年団に入っていた。

問20：鹿児島市の林業・森林に期待する役割がありますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
住宅資材などの木材や林産物（しいたけ、たけのこ）の生産	96	60.8%
地域産業の活性化（他産業との連携を含む）	67	42.4%
水質浄化や水資源などを貯える役割	74	46.8%
二酸化炭素吸収などの地球温暖化の緩和	96	60.8%
多様な生き物を育む生態系の保全	69	43.7%
洪水や山崩れ防止などの防災機能	107	67.7%
自然体験や環境学習などの教育機能	71	44.9%
登山などのレクリエーションや生活に潤いや安らぎをもたらす機能	81	51.3%
特にない	5	3.2%
その他	2	1.3%
無回答	1	0.6%
合計	669	

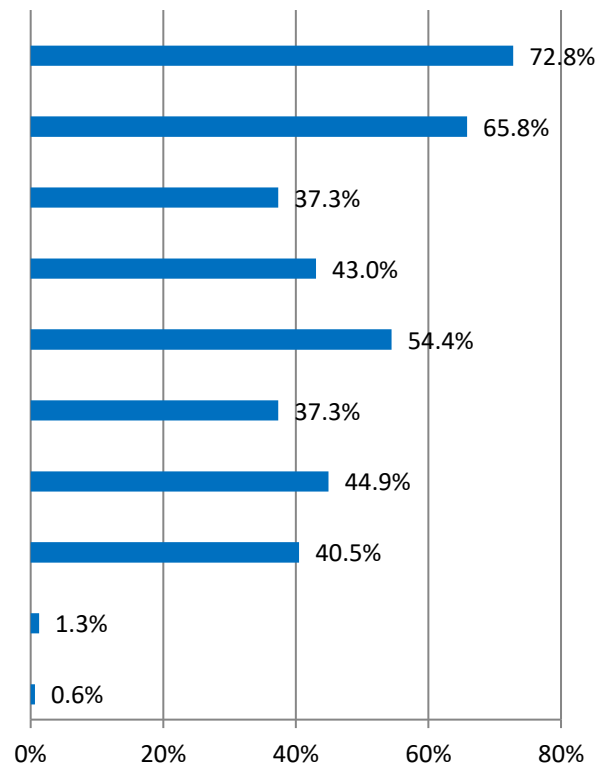


問20：その他の主な意見

林道だけでなく、特に旧5町地区の遊歩道の設定を行うことで、多くの市民が理解を深められると思う。

問21：今後、林業の振興や森林の保全をするため、どのような取組が重要だと思いますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
新規就業者の確保・育成	115	72.8%
林業従事者の所得安定化への支援	104	65.8%
最新技術や機械の導入促進	59	37.3%
林道や作業道等の保全	68	43.0%
計画的な間伐や植林の促進	86	54.4%
木材や林産物の消費拡大に向けたPR	59	37.3%
市民の林業や森林に対する理解を深めるための取組	71	44.9%
森林ボランティアなど市民が協力できる機会を増やす	64	40.5%
その他	2	1.3%
無回答	1	0.6%
合計	629	

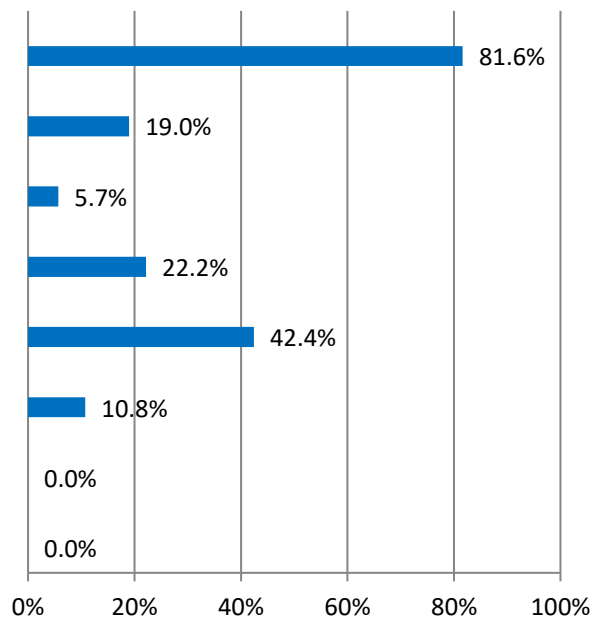


問21：その他の主な意見

障がい者雇用促進に！働ける障がい者はいるはず。

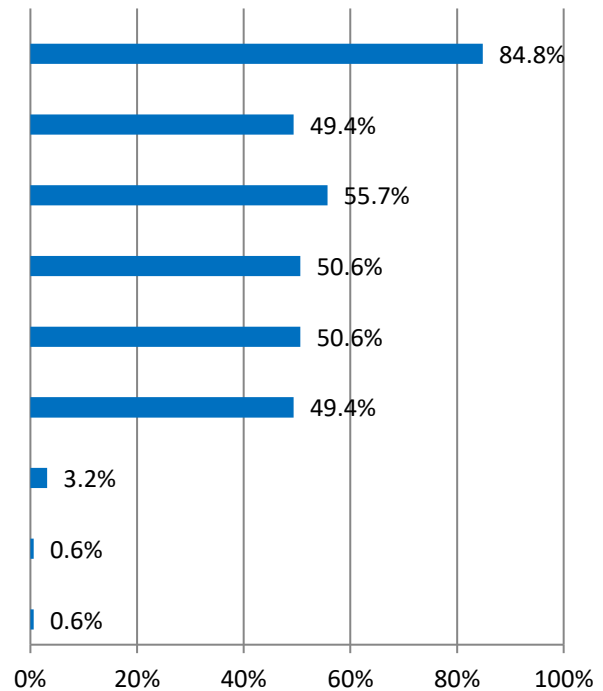
問22：鹿児島市の水産業を身近に感じたことがありますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
鹿児島市内の水産物を購入したことがある	129	81.6%
水産業に携わっている人が知り合いにいる	30	19.0%
水産業の作業体験をしたことがある	9	5.7%
水産業関係のイベントに参加したことがある	35	22.2%
テレビやインターネットなどで本市の水産業に関する情報を見聞きしたことがある	67	42.4%
特にない	17	10.8%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	287	



問23：鹿児島市の水産業・河川・海に期待する役割がありますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
新鮮で安全・安心な水産物の安定した供給	134	84.8%
地域産業の活性化（他産業との連携を含む）	78	49.4%
漁業者などによる海岸、川岸の清掃活動による環境美化と保全	88	55.7%
多様な生き物を育む生態系の保全	80	50.6%
漁業体験や食育、環境学習などの教育機能	80	50.6%
釣りなどのレクリエーションや生活に潤いや安らぎをもたらす機能	78	49.4%
特にない	5	3.2%
その他	1	0.6%
無回答	1	0.6%
合計	545	

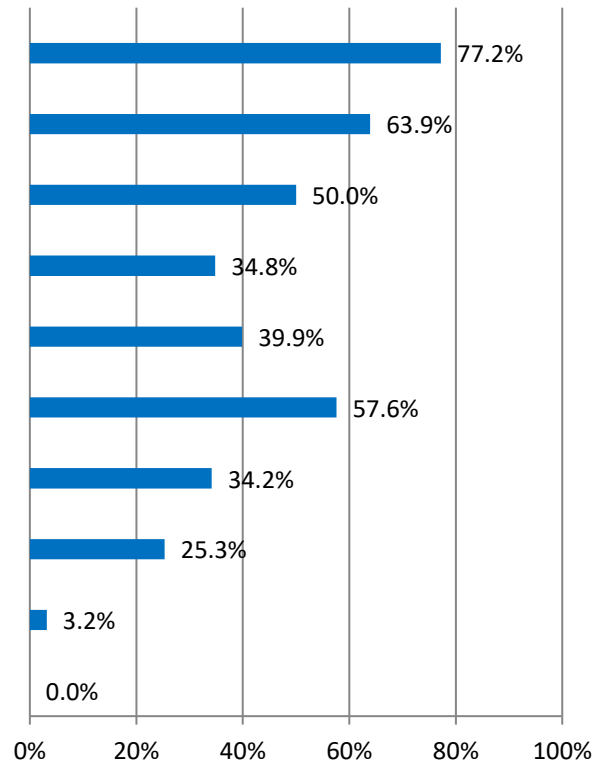


問23：その他の主な意見

障がい者雇用促進にも！

問24：今後、水産業の振興や水産資源の保全をするため、どのような取組が重要だと思いますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
新規就業者や後継者の確保・支援	122	77.2%
漁業者の所得向上に向けた支援	101	63.9%
魚礁の設置など漁場の整備	79	50.0%
マダイ・ヒラメなどの放流	55	34.8%
水産物の付加価値向上	63	39.9%
水産物の消費拡大に向けたPR	91	57.6%
市民の水産業に対する理解を深めるための取組	54	34.2%
作業ボランティアなど市民が協力できる機会を増やす	40	25.3%
その他	5	3.2%
無回答	0	0.0%
合計	610	

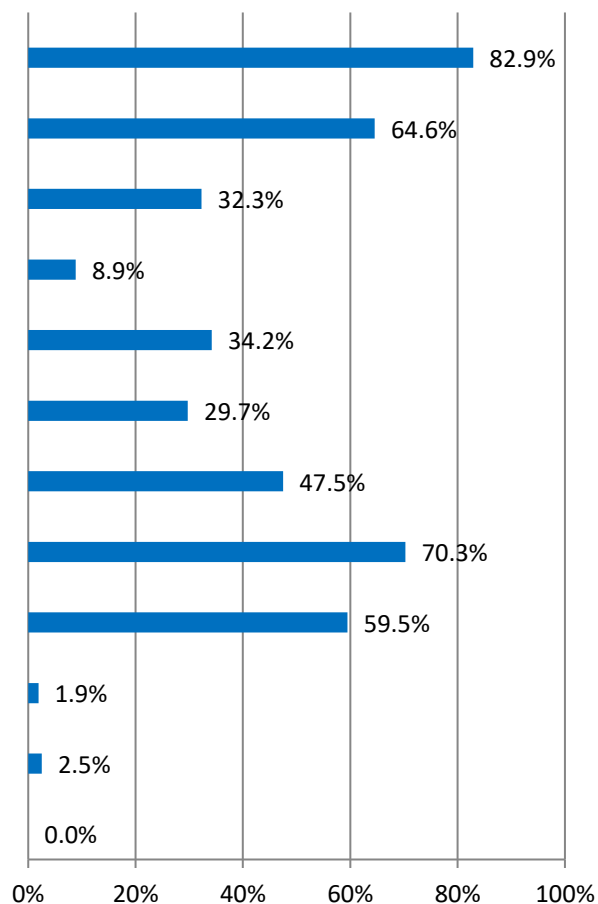


問24：その他の主な意見

砂浜や岩場、磯をできるだけ残すこと。保全すること。

問25：農林水産業関係の仕事に対してどんなイメージをお持ちですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
食料確保のために必要	131	82.9%
自然環境の保全のために必要	102	64.6%
やり方次第で高い収益を得ることができそう	51	32.3%
マイペースに仕事ができそう	14	8.9%
自然の中で仕事ができ魅力的	54	34.2%
体を動かし健康的	47	29.7%
重労働できつそう	75	47.5%
収入が不安定そう	111	70.3%
機械など設備投資にかなりの費用がかかりそう	94	59.5%
特にイメージはない	3	1.9%
その他	4	2.5%
無回答	0	0.0%
合計	686	



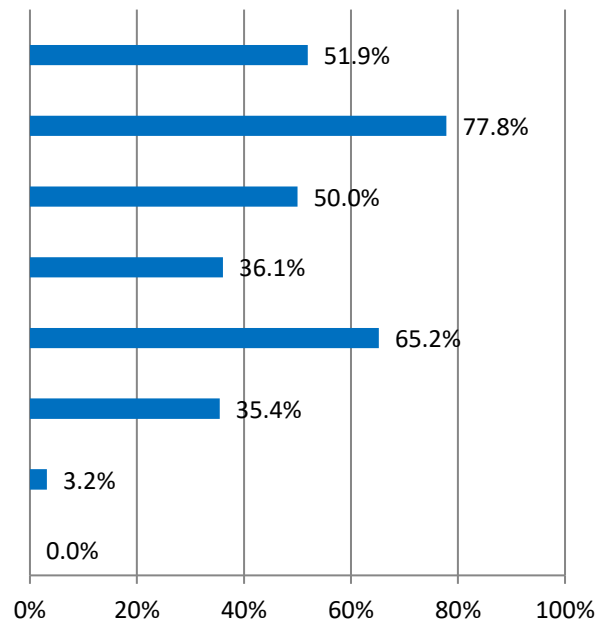
問25：その他の主な意見

生きがいがある

後継者が年々減少しているイメージ。高齢化しているイメージ。

問26：農林水産業に仕事として携わる人を増やすために、どのような取組が重要だと思いますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
研修制度の充実	82	51.9%
就業初期の収入の安定化への支援	123	77.8%
就業に必要な施設などの導入への支援	79	50.0%
作業体験機会の充実	57	36.1%
仕事としての魅力の発信	103	65.2%
他産業や大学との連携	56	35.4%
その他	5	3.2%
無回答	0	0.0%
合計	505	



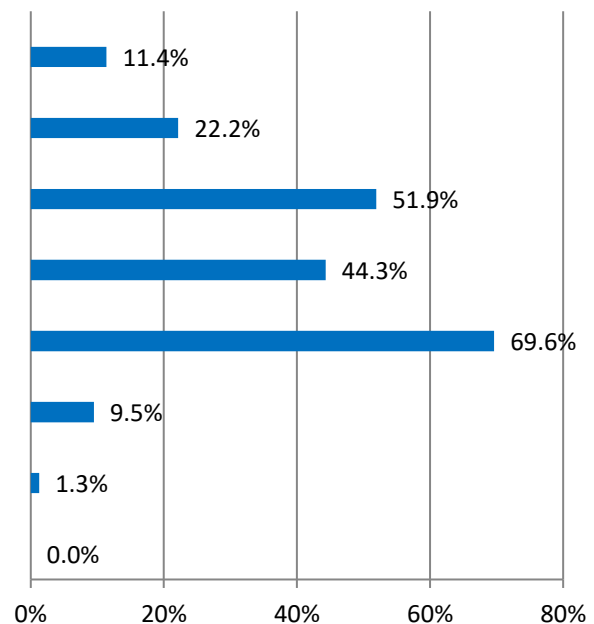
問26：その他の主な意見

高校等の教育、興味を得る機会を増やす。

市民全体の理解、協力、応援。

問27：あなたが、農林水産業に、現在関わっている、または今後関わることができると思うものがありますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
仕事として携わる	18	11.4%
作業ボランティアとして支援する	35	22.2%
趣味や余暇の過ごし方として携わる	82	51.9%
イベント等で作業体験に参加する	70	44.3%
市内産の農林水産物を積極的に購入する	110	69.6%
関わることができると思わない	15	9.5%
その他	2	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	332	

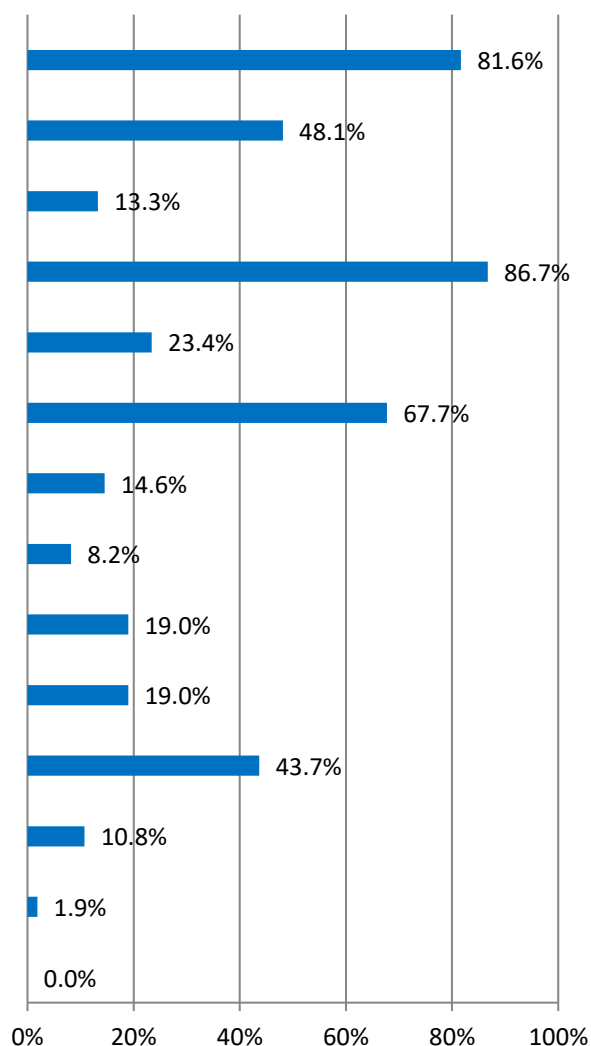


問27：その他の主な意見

果樹、野菜の多少の販売は可能かも。

問28：食事の準備をするうえで、野菜・果物・肉・魚などの食材を購入する際にどのようなことを条件として選んでいますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
国産であること	129	81.6%
県内産であること	76	48.1%
市内産であること	21	13.3%
鮮度が良いこと	137	86.7%
傷や虫食いがいないこと	37	23.4%
価格が安いこと	107	67.7%
地域ブランド化されていること	23	14.6%
GAP 認証があること	13	8.2%
有機農産物（オーガニック）であること	30	19.0%
調理がしやすい（カット加工済み等）こと	30	19.0%
使い切れる量であること	69	43.7%
機能性成分を多く含む農産物であること	17	10.8%
その他	3	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	692	



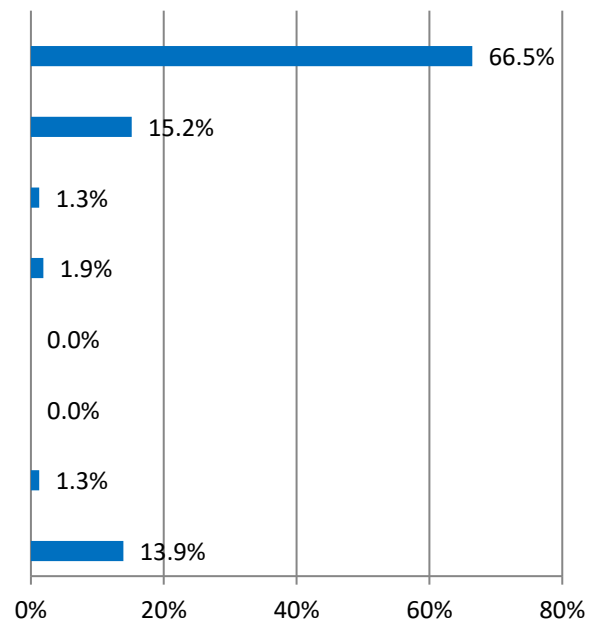
問28：その他の主な意見

農薬が多く使われていないこと。

調理師しやすい物（味、形、リピート率）

問29：食事の準備をするうえで、野菜・果物・肉・魚などの食材を購入する場所はどこですか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
スーパー	105	66.5%
スーパー内の地元農林水産物販売コーナー	24	15.2%
直売所	2	1.3%
八百屋、鮮魚店、精肉店	3	1.9%
インターネット	0	0.0%
宅配サービス	0	0.0%
その他	2	1.3%
無回答	22	13.9%
合計	158	100.0%

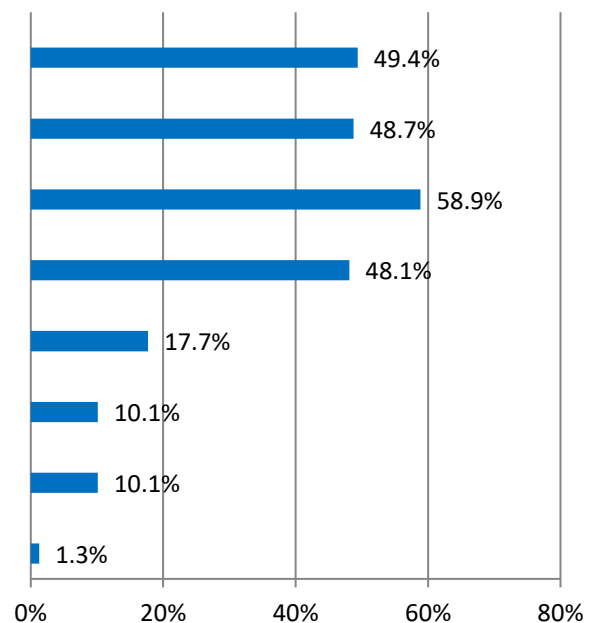


問29：その他の主な意見

ひとつだけ答えることは難しいと思う。

問30：問29で選択した購入場所を選ぶ理由は何ですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
価格が安いから	78	49.4%
品質が良いから	77	48.7%
品揃えが良いから	93	58.9%
立地が良いから	76	48.1%
生産者を身近に感じられるから	28	17.7%
購入しに行く時間がないから	16	10.1%
その他	16	10.1%
無回答	2	1.3%
合計	386	

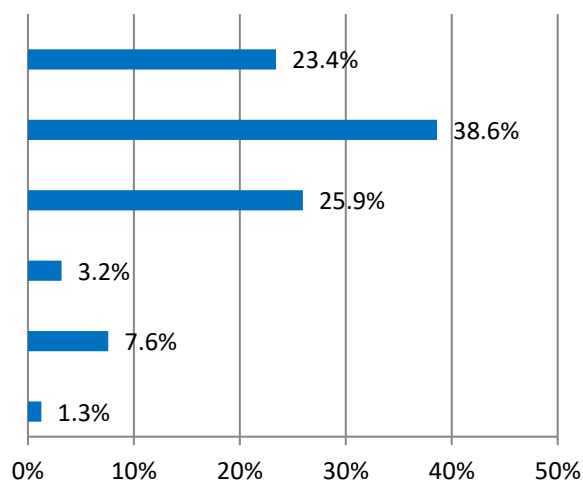


問30：その他の主な意見

減農薬、無添加など安全性が大切だから。

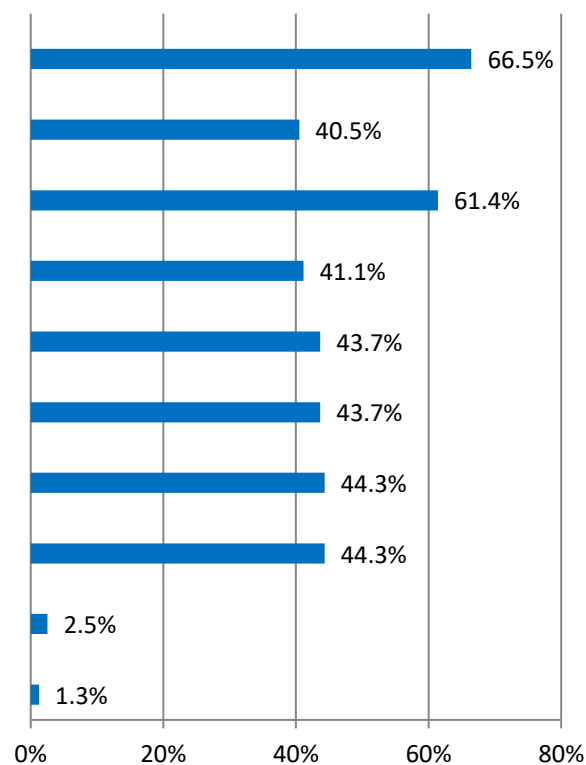
問31：あなたの普段の食事について、お総菜や冷凍食品、カット野菜などを利用する頻度は、今後どうなっていくと思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
増えていく	37	23.4%
どちらかといえば増えていく	61	38.6%
今と変わらない	41	25.9%
どちらかといえば減っていく	5	3.2%
ほとんど利用しない	12	7.6%
無回答	2	1.3%
合計	158	100.0%



問32：今後、鹿児島市内産の農林水産物を多く利用してもらうために、重要だと思う取組は何ですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
地域ならではの特産物の生産	105	66.5%
食品製造業者等との連携	64	40.5%
安全・安心に向けた取組	97	61.4%
販路拡大に向けた取組	65	41.1%
イベント等によるPR	69	43.7%
市内産とすぐに分かる表示	69	43.7%
学校や病院・介護施設での給食利用促進	70	44.3%
飲食店やホテルでの利用促進	70	44.3%
その他	4	2.5%
無回答	2	1.3%
合計	615	



問32：その他の主な意見

市内産が見えるシールなど。

野菜など特に割高なので普通に買える金額にしてほしい。

問33：農林水産業について、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にお書きください。

鹿児島市は、農林水産物が多いので、もっと行政を中心にPRして地場産業の支援をしてもらいたい。

安心安全な食材をできれば安価で買えるように願い、感謝して残さず食べる。エコバッグなど自然環境保護のため自分にできることを努力したい。

非正規雇用の方々向けに農林水産業の就労促進などを行うといいマッチングが生まれるかもしれないかなと思います。

農業者の方と携わる仕事をしています！

皆さん天候に左右されながらも一生懸命頑張っていると思います。応援していきたいです！

※各質問ごとの「その他の意見」については、大変多くのご意見をいただいておりますことから、市ホームページに掲載しております。

【テーマ担当課（農政総務課）からのコメント】

市民の皆様が、農林水産業及び農地・森林等に期待する役割や、農林水産業関係の仕事としてのイメージ、自身の農林水産業への関わり方などについて、どのようにお考えなのか、お伺いさせていただきました。

多くの方々が、市内の農林水産物を購入したことがあり、農林水産物の供給を期待しているとともに、地域産業の活性化、洪水防止や食育等の多面的機能にも関心が高い結果となりました。

また、農林水産業の仕事に対するイメージは、「食料確保のために必要」と認識する中、「収入が不安定そう」「機械など設備投資にかなり費用がかかりそう」などの意見が多く、農林水産業に仕事として携わる人を増やすための問いには、「就業初期の収入の安定化」「仕事としての魅力の発信」「研修制度の充実」などが重要との回答を頂きました。

回答者ご自身が農林水産業に関わる事ができるものとしては、「市内産の農林水産物を積極的に購入する」が最も多く、次いで、「趣味や余暇の過ごし方として携わる」「イベント等で作業体験に参加する」などを希望される方が半数近くを占めていました。また、約2割の方が、「作業ボランティアとして支援する」と回答され、約1割の方が、「仕事として携わる」と回答されるなど、生産現場に参入していきたいとする方が一定数いることが伺えました。

市内産農林水産物を多く利用してもらうための問いには、「地域ならではの特産物の生産」「安全・安心にむけた取組」などが重要との回答を頂きました。

次期農林水産業振興プラン（仮称）の策定にあたり、今回いただいた貴重なご回答を十分踏まえながら、本市農林水産業振興に係る施策の検討を行ってまいります。

歯周病について

【アンケートの目的】

歯周病は、日本人が歯を失う主な原因の一つです。生涯にわたって口の健康を保ち、食事や会話を楽しむためには、歯周病の検査を受けて、結果に基づいた適切な診療を受けることが望まれます。

そのため、本市では、歯周病の早期発見・早期治療と適切な歯科保健指導を受けていただけるように、歯周病検診を行っております。

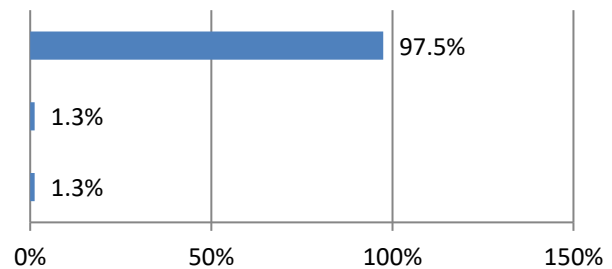
つきましては、市民のみなさまの歯周病に対する関心度や認知度を把握し、今後の事業推進の参考とするために、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

※歯周病は、歯ぐきや歯を支える歯槽骨などに炎症が起き、徐々に破壊されていく病気です。気づかないうちに進行し、重症になると歯が抜け落ちることがあります。歯周病の検査では、目盛りのついたポケットプローブで歯周ポケット歯と歯ぐきの間にある溝の深さを測定し、炎症の進み具合を確認します。

【調査結果】

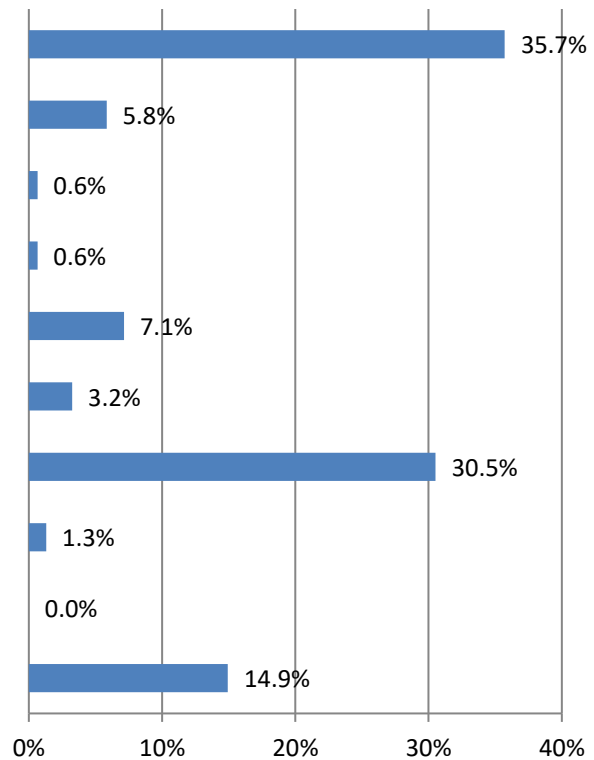
問34：あなたは「歯周病」という言葉を知っていますか

選択肢	回答数	構成比
知っている	154	97.5%
知らない	2	1.3%
無回答	2	1.3%
合計	158	100.0%



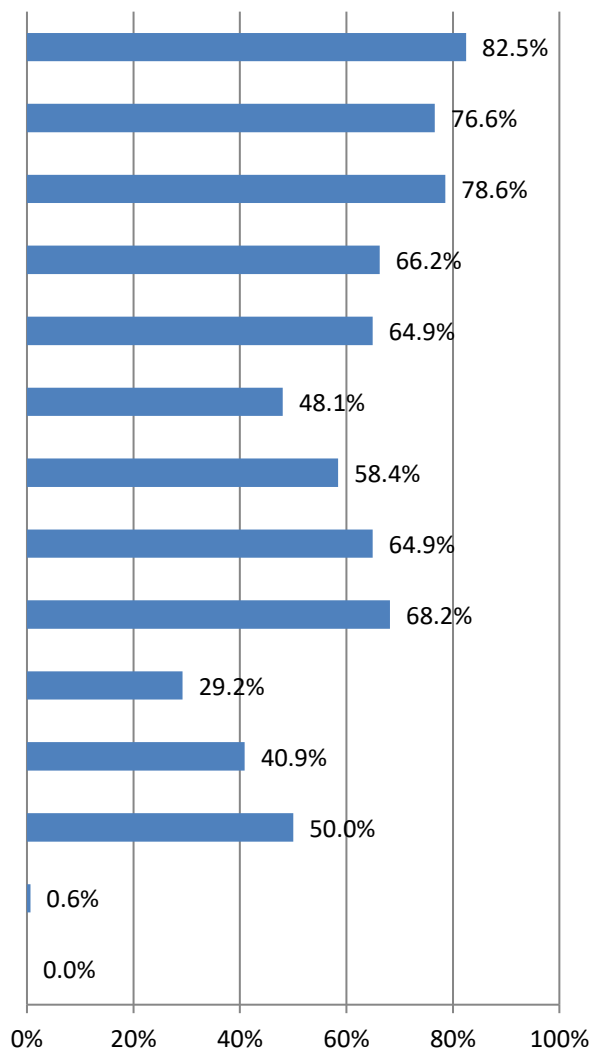
問35：問34で「1. 知っている」と回答された方にお伺いします。歯周病という言葉を知ったきっかけは何でしたか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
テレビ	55	35.7%
新聞や雑誌	9	5.8%
市広報誌「市民のひろば」 や市のホームページ	1	0.6%
健康イベントや研修会	1	0.6%
学校での歯科健診や健康教育	11	7.1%
職場健診やその他の健康診断	5	3.2%
歯科医院での治療	47	30.5%
「いきいき受診券」や「歯周病検診受診券」	2	1.3%
その他	0	0.0%
無回答	23	14.9%
合計	154	



問36：問34で「1. 知っている」と回答された方にお伺いします。歯周病について知っていることは何ですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
口の中の細菌が原因で、歯ぐきや歯を支える骨に炎症がおこる病気である	127	82.5%
歯みがきの時に歯ぐきから血が出ることもある	118	76.6%
歯ぐきが腫れたり、歯がぐら	121	78.6%
口臭が強くなることもある	102	66.2%
気づかぬうちに進行し、重症化することがある	100	64.9%
成人の多くがこの病気にかかっている	74	48.1%
日本人が歯を失う主な原因の一つである	90	58.4%
予防 や治療には自宅での 口のお手入れが大切である	100	64.9%
予防 や治療には定期的に歯科医院を受診することが大切である	105	68.2%
喫煙者は歯周病が悪化しやすい	45	29.2%
生活習慣との関係がある	63	40.9%
全身の健康との関係がある	77	50.0%
その他	1	0.6%
無回答	0	0.0%
合計	1123	

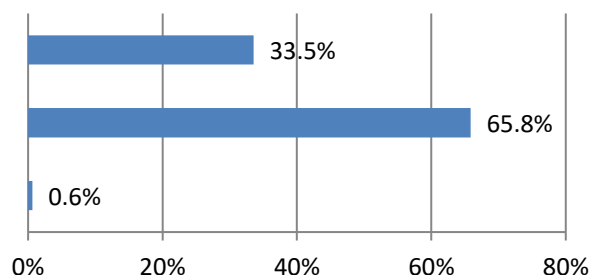


問36：その他の主な意見

他の病気を引き起こす原因となる。

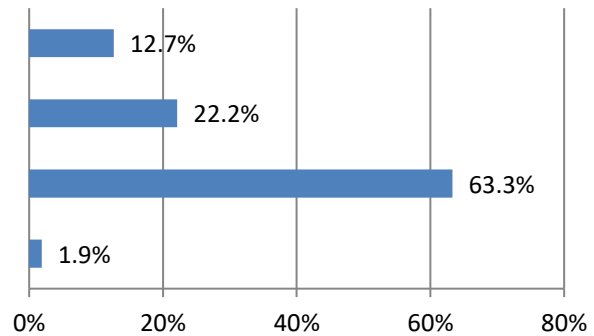
問37：本市では、40歳、50歳の方には「歯周病検診受診券」、60歳、70歳の方には「いきいき受診券」をお送りし、歯周病検診を市内の歯科医院等にて受診していただいております。鹿児島市で「歯周病検診」を実施していることを知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
知っている	53	33.5%
知らない	104	65.8%
無回答	1	0.6%
合計	158	100.0%



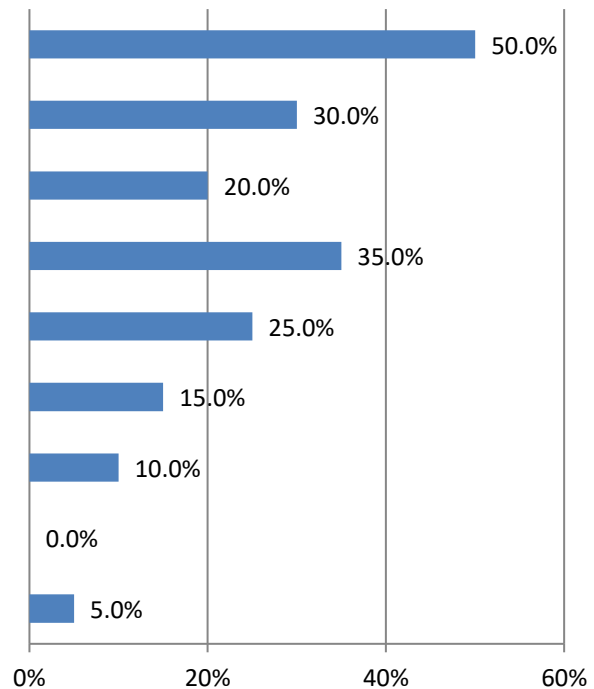
問38：本市の歯周病検診では、歯科検診と特定の歯の歯周ポケット診査（歯と歯ぐきの間にある溝の深さ等の診査）を行っています。本市の歯周病検診を利用したことがありますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
利用したことがある	20	12.7%
検診の案内を受けたが利用したことはない	35	22.2%
検診の案内を受けたことがない	100	63.3%
無回答	3	1.9%
合計	158	100.0%



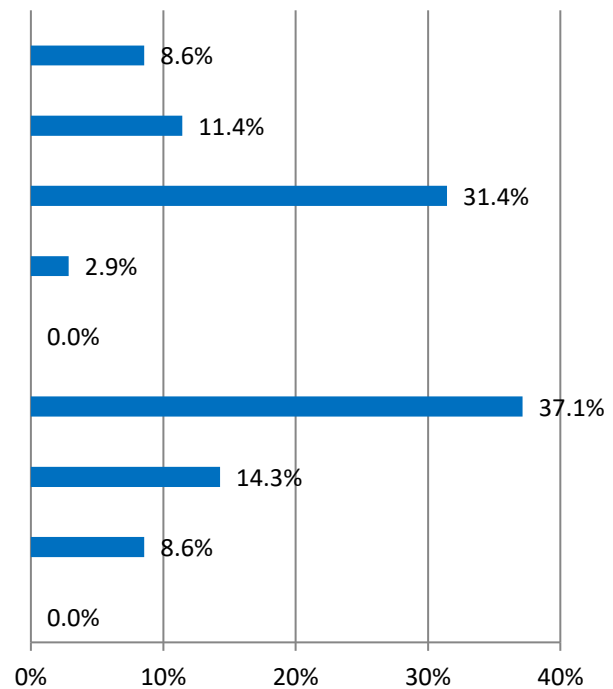
問39：問38で「1. 利用したことがある」と回答された方にお伺いします。歯周病検診を利用して、要望がありますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
自己負担金を安くしたらよい	10	50.0%
検診の対象年齢を増やしたらよい	6	30.0%
検診項目を増やしたらよい	4	20.0%
お手入れ方法などの保健指導をしたらよい	7	35.0%
検診結果を詳しく説明したらよい	5	25.0%
受診可能な歯科医院が自宅に近いところにあったらよい	3	15.0%
特にない	2	10.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	5.0%
合計	38	



問40：問38で「2検診の案内を受けたが利用したことはない」と回答された方にお伺いします。歯周病検診を利用しなかった理由についてお答えください。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
自己負担金が必要だから (自己負担金が高い)	3	8.6%
検診内容がわかりにくかったから	4	11.4%
歯科医院を受診する時間がとれなかったから	11	31.4%
受診可能な歯科 医院 が自宅から遠かったから	1	2.9%
どこでやっているかわからなかったから	0	0.0%
歯科医院で治療中だったから	13	37.1%
特にない	5	14.3%
その他	3	8.6%
無回答	0	0.0%
合計	40	



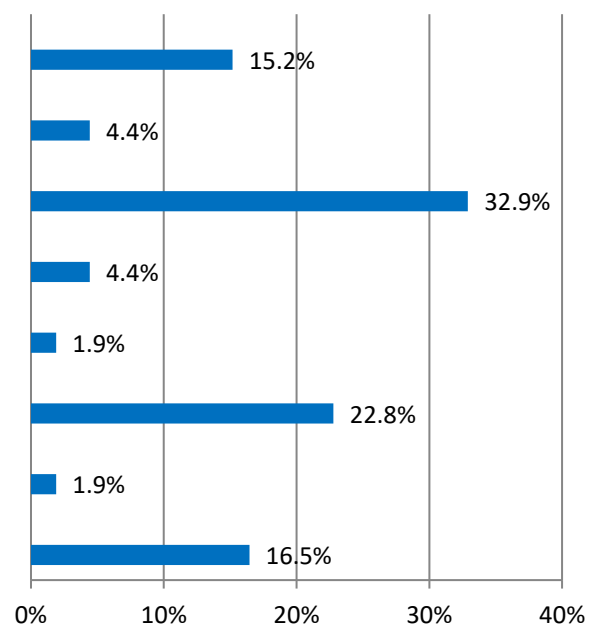
問40：その他の主な意見

治療ついでに受けようと思い未受診。

時間がない。

問41：本市の令和元年度の歯周病検診受診率は約3%となっており、受診率が低いという結果が出ています。歯周病検診の受診者数を増やすにはどのような方法が最も効果的だと思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
広報の工夫	24	15.2%
市民への PR ・説明会	7	4.4%
個別に受診券を発送する	52	32.9%
「市民のひろば」や市のホームページでの情報量を増やす	7	4.4%
イベントなどへの積極的参加による PR 活動	3	1.9%
自己負担金を安くする	36	22.8%
その他	3	1.9%
無回答	26	16.5%
合計	158	100.0%

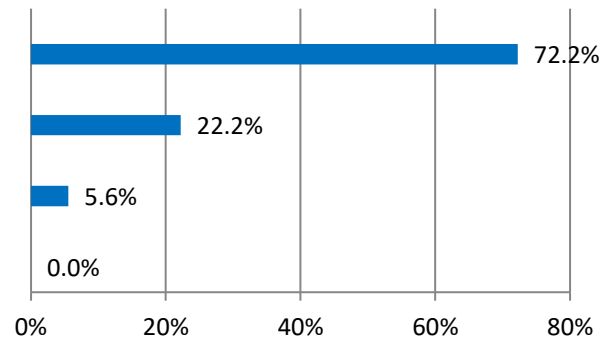


問41：その他の主な意見

痛みを和らげる工夫が必要。

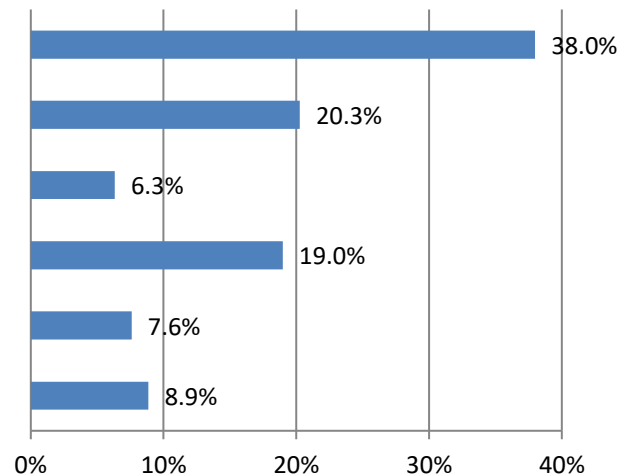
問42：問41で「6. 自己負担金を安くする」と回答された方にお伺いします。
 自己負担金（現在は1,500円）について適当だと思う金額はいくらだと考えますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
100円～500円	26	72.2%
501円～1,000円	8	22.2%
1,001円以上	2	5.6%
無回答	0	0.0%
合計	36	100.0%



問43：現在、歯周病検診の案内は、市広報誌「市民のひろば」やホームページなどで行っています。この他の広報媒体として、どれが最も効果的だと思いますか。（ひとつだけ）

選択肢	回答数	構成比
新聞やフリーペーパー	60	38.0%
SNS	32	20.3%
ポスター掲示	10	6.3%
チラシの設置や配布	30	19.0%
その他	12	7.6%
無回答	14	8.9%
合計	158	100.0%



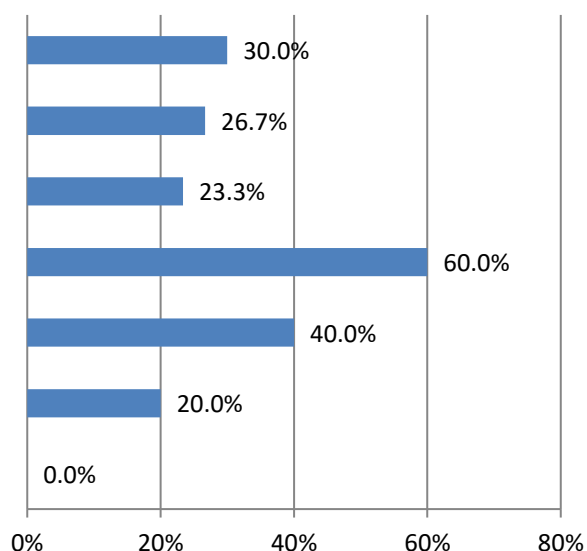
問43：その他の主な意見

個別に受診券を発送する。

企業の健康診断の時に案内受診してもらう

問44：問43で「4. チラシの設置や配布」と回答された方にお伺いします。普段チラシなどを手に取られるのはどのような場所ですか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
市の関連施設	9	30.0%
学校（お子さんの学校からの配布物なども含む）	8	26.7%
職場	7	23.3%
町内会の回覧物	18	60.0%
スーパーやデパートなどの商業施設	12	40.0%
その他	6	20.0%
無回答	0	0.0%
合計	60	



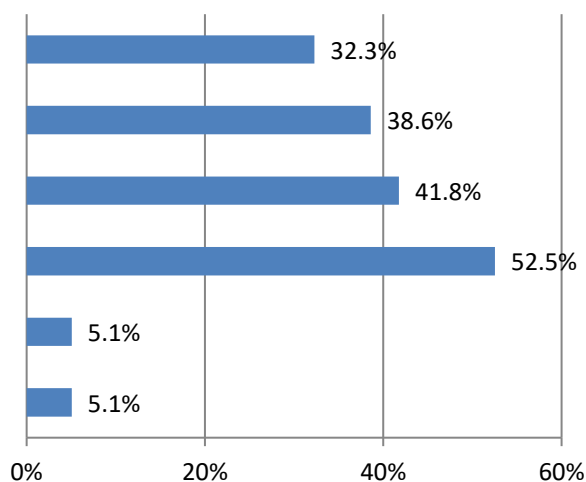
問44：その他の主な意見

自宅ポスト

新聞のチラシ

問45：市民へのPR・説明会を実施するにあたって、どのような機会が効果的だと思いますか。（いくつでも）

選択肢	回答数	構成比
市の関連施設での説明会	51	32.3%
学校	61	38.6%
各種団体や企業・営業所への出張講座	66	41.8%
町内会、地域の集まりやイベントなど	83	52.5%
その他	8	5.1%
無回答	8	5.1%
合計	277	



問45：その他の主な意見

個別にチラシ配布。

職場検診とセットにする。説明だけでも。

歯科医院での説明、チラシ配布

問46：「歯周病検診」について、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。

歯周病は本当は恐ろしい病なのに本当の恐ろしさがわかっていないということが受診率の低さだと思う。まず受診して発症しているかしていないかを知ってもらうこと、そしてそれが恐ろしい病気を引き起こす要因になることを身をもって感じてほしいと思う。心筋梗塞の歯周病率をPRしてはどうか。

テレビで高齢者がやっておけばよかったと後悔していることランキングで歯の治療という項目が上位にあったことが印象に残っている。子どもが小さかったころは歯医者に行く時間も取れなかったが、今は時間がとれるようになったので定期的に歯医者に行くようにしている。

最近「歯周病」は、痴呆症とも深いかわりがあると聞いております。高齢化が進む現代において、市が県が国が進んで定期的な検診と対策等を検討していただき、高齢であっても、他と関わりあえて楽しく社会に貢献できるお年寄りそれが一番かと思えます。

※各質問ごとの「その他の意見」については、大変多くのご意見をいただいておりますことから、市ホームページに掲載しております。

【テーマ担当課（保健予防課）からのコメント】

今回のアンケートでは、「歯周病」という言葉について「知っている」と回答した方は97.5%と多く、テレビや歯科医院などを通じて「歯周病」という言葉を知った方が多くいらっしゃいました。

また、歯周病が原因で起こるお口の中の症状について「知っている」と回答した方は多くいらっしゃったものの、喫煙者は歯周病が悪化しやすいことを「知っている」と回答した方は29.2%にとどまり、喫煙による歯周病への影響について情報発信が必要であることがわかりました。

また、鹿児島市で歯周病検診を実施していることを「知っている」と回答した方は33.5%、歯周病検診を「利用したことがある」と回答した方は12.7%にとどまりました。歯周病検診の受診者数を増やすために有効と思われる方法としては、32.9%の方が「個別に受診券を発送する」としており、対象者への受診勧奨方法について検討が必要であることがわかりました。

歯周病はお口の中だけでなく全身の健康とも関係が深いことから、歯周病に関する情報発信に努めるとともに、市民の皆さまが「歯周病検診」を利用してご自分の健康管理の一助になれるよう、今回の調査結果を利用して、より受診しやすい検診体制の構築に努めてまいりたいと考えております。

ありがとうございました。

☆☆ご協力ありがとうございました！☆☆